

9 中学校 国語科 問題用紙

(13枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

〔注意事項〕

- 1 答えは、全て解答用紙に記入すること。
- 2 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の二種類がある。
- 3 マーク式問題の答えはマーク式解答用紙に、記述式問題の答えは記述式解答用紙に記入すること。
- 4 マーク式問題の答えは、問題で示された解答番号の欄にある数字をマークすること。例えば、解答番号1と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のようにマーク式解答用紙の解答番号1の解答欄③にマークすること。

(例)

解答番号	解 答 欄
1	① ② ● ④

- 〔一〕 次の文章を読んで、あとの問い一～九に答えなさい。(問い一～五はマーク式問題、問六～九は記述式問題です。)なお、設問の問係で、本文の段落に 1 ～ 19 の番号を付しています。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

9 中学校 国語科 問題用紙

(13枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

9 中学校 国語科 問題用紙

(13 枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(柄谷行人 「定本 日本近代文学の起源」 による。)

問一 (a) 春秋、 (c) つとに とありますが、これらの本文中における意味として最も適切なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ選び、その番号を答えなさい。 (a)は解答番号1の解答欄に、(c)は解答番号2の解答欄にそれぞれマークしなさい。

- (a) 春秋
- ① 外遊 ② 日記 ③ 論文 ④ 年月

- (c) つとに
- ① かねてより ② 意図的に ③ 偶然に ④ ようやく

問二 (b) はつきりと同じ品詞の語を、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号3の解答欄にマークしなさい。

① まさに ② 古めかしい ③ なぞらえる ④ 不確かだ

問三 X に当てはまる最も適切な語を、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号4の解答欄にマークしなさい。

- ① あるいは ② したがって ③ ところで ④ なぜなら

中学校 国語科 問題用紙

(13枚のうち4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問四 Y に当てはまる最も適切な語を、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号5の解答欄にマークしなさい。

- ① 相克的 ② 対立的 ③ 相補的 ④ 類推的

問五 この文章の構成に関する説明として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号6の解答欄にマークしなさい。

- ① [1]段落から[3]段落は『文学論』の序文を引用して、英文学への不満から漢文学への親しみを抱く漱石の姿を示し、[4]段落は西洋文学と日本文学の対比を踏まえながら独自のスタイルで創作された漱石の具体的な作品を挙げて問題の所在を明確化している。
- ② [5]段落は漱石と同時代に仕事をしていたロマン主義と自然主義の作家の紹介を通じて、漱石が文壇に迎合しつつも「近代文学」への疑義を訴えていた状況を示し、[6]・[7]段落は近代文学を超越するための方法を探るために、漱石自身も用いていた絵画の例に話題を広げている。
- ③ [8]・[9]段落は宇佐美圭司の文章の引用を踏まえて、近代西洋の風景画を通して「山水画」が見いだされた経緯を説明し、[10]段落から[15]段落は、「山水画」と幾何学的遠近法を用いた西洋の風景画は本質的に異なることを指摘して論を深めている。
- ④ [16]段落で柳田国男、[17]段落でパノフスキーに言及することで、[18]・[19]段落は絵画における幾何学的遠近法が近代文学における「自己表現」の成立の前提にあることを示し、近代文学の見方を前代や古代に投射することが「文学史」の捏造につながる、という筆者の主張を導いている。

問六 A 漱石がここで「漢文学」と呼ぶのは、そのようなものではないとありますが、漱石が「漢文学」と呼ぶのはどのようなのですか。本文中における筆者の主張を踏まえて、七十字以内で書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問七 B 中世ヨーロッパの宗教画と中国の山水画は、対象をまったく異にするにもかかわらず、対象を見る形態において共通していたのであるとありますが、中世ヨーロッパの宗教画と中国の山水画では、対象を見る形態においてどのような点が共通していますか。本文中における筆者の主張を踏まえて、六十字以内で書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

9 中学校 国語科 問題用紙

(13枚のうち5)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問八 風景としての風景とありますが、筆者は本文に続く文章で、文学において「風景」としての風景を書いた例として国木田独歩の『忘れえぬ人々』を挙げています。次の【資料】は、筆者が国木田独歩の『忘れえぬ人々』を引用し、それについての考えを述べた部分です。次の【資料】を読み、あとの「問い」に答えなさい。

【資料】

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(柄谷行人 「定本 日本近代文学の起源」 による。)

「問い」 「風景」としてみられているとありますが、筆者が島かげにいた男について、「風景」としてみられていると述べたのはなぜですか。その理由を、本文中における筆者の主張を踏まえて、【資料】から根拠を挙げて書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問九 ㉞ ㊦ について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みを平仮名で、それぞれ書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

受験番号	氏名
------	----

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

□ 次の文章は、源氏の宮へのかなね恋に思い悩む中将の君が、端午の節句の前に、路上で菖蒲を売り歩く男たちを目にする場面です。これを読んで、あとの問一〜六に答えなさい。(問一〜三はマーク式問題、問四〜六は記述式問題です。)

四月も過ぎぬ。五月四日にもなり **a** ぬ。中将の君、内裏よりまかり出たまふに、道すがら見たまへば、^{注1}菖蒲引き掛けぬ賤の男なく行きちがひつつ、もてあつかふさまども、げに、かく深かりける十市の里の^{注2}こひちなるらんと見ゆる、足もとどものア いみじげなる も知らず、いと多く持ちたるを、いかに苦しがるらんと、目留まりて、

うき沈みねのみなかるる菖蒲草かかこひぢと人も知らぬに

と **I** 思さる。玉の台の軒端に掛けて見たまふは、をかしうのみこそあるを、御車のさきに、顔なども見えぬまで行きやらぬを、御随身ども、おどろおどろしく声々に追ひ留むれば、身のならんやうも知らず、かがまり **II** 居たる を見たまひて、「さしも苦しいなるものを、**A** かくな言ひそ」と制せさせたまへば、「慣らひにてはべれば、**B** さばかりのものは何か苦しきさぶらはん」と申すを、心憂くも言ふかな、と聞きたまふ。恋の持夫は、我が御身に慣らひたまへればなるべし。

大きなるも小さきも、端ごとに葺き騒ぐを、御車より少し覗きつつ見過したまふに、言ひ知らず小さき草の庵どもに、ただ一筋づつなど置きわたすを、何の人真似すらん、とあはれに見たまふ。御容貌の夕映、まことに光るやうなるを、半蔀に集まり立ちて見たてまつり賞づる人々ありけり。御車のありさま、御随身どもの思へるけしき、姿なども、**I** なべての人とは見えず、めづらしう、うつくしげなる、あれが身にてだにあら **b** ばや、何事思ふらんと、^{注3}若き人々めで感ひて、過ぎたまふが口惜しければ、軒の菖蒲一筋引き落して、急ぎ **III** 書きて、よろしきはした者して追ひて 奉る。後れて走る御随身に取らせて帰るを、「**C** いづくよりとか申さん、やがて御車に参りたまへ」とて **IV** とらへつ。参らせたるを御覧すれば、

D しらぬまのあやめはそれと見えずとも蓬が門は過ぎずもあらなん

とぞある。いかなるすき者の居たる **c** ならむ、とうちほほ笑みて問はせたまへば、言はんやは。御随身ども、そのわたりに筆求めて持て参りたれば、^{注4}経紙などのにや、^{注5}泥の着きたるぞありける。畳紙に、^{注6}あらぬ筋に紛らはして、

E 見も分かで過ぎにけるかなおしなべて軒端のあやめ隙しなければ

「いまわざと参らむ」と言はせたまひて、「童の入らむ所見よ」とぞのたまひて、過ぎたまふ。蔀高く上げわたして、人々の透影あまたして、童べのをかしき、あまた多かり。見おきはべるよし申せば、何人ならん、見知りたりけるにや、と思せど、かやうのうちつけ懸想などは御心にも入らず、ただあるまじきことをのみぞ、いかなるも、御身苦しう思しはばかる **d** める。

(「狭衣物語」による。)

(注1) 菖蒲 Ⅱ 端午の節句のときには、菖蒲を軒に葺いたり、簷として頭に付けたりした。

(注2) こひぢ Ⅱ 泥。和歌では多く「恋路」にかけて用いる。

(注3) 若き人々 Ⅱ 若い女房たち。

(注4) 経紙 Ⅱ 写経に用いる紙。

(注5) 泥 Ⅱ 金粉・銀粉をにかわの液に溶かして泥状にしたもの。

(注6) あらぬ筋に紛らはして Ⅱ 筆跡をそれと知られぬように変えたことを表す。

中学校 国語科 問題用紙

(13枚のうち7)

受験番号	氏名
------	----

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問一 ア いみじげなる、イ なべての人 とありますが、これらの本文中における意味として最も適切なものを、次の各群の①

④の中からそれぞれ選び、その番号を答えなさい。アは解答番号7の解答欄に、イは解答番号8の解答欄にそれぞれマークしなさい。

ア いみじげなる

- ① 整った様子である ② 痛々しい様子である ③ ひどい様子である ④ 美しい様子である

イ なべての人

- ① 高貴な人 ② 無教養な人 ③ 不審な人 ④ 普通の人

問二 ① あぬ、② ばや、③ なら、④ める について、それぞれの文法的説明の組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号9の解答欄にマークしなさい。

- | | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| ① <u>あ</u> 完了の助動詞 | ② <u>あ</u> 完了の助動詞 | ③ <u>あ</u> 完了の助動詞 | ④ <u>あ</u> 完了の助動詞 |
| ② <u>あ</u> 完了の助動詞 | ③ <u>あ</u> 完了の助動詞 | ④ <u>あ</u> 完了の助動詞 | ⑤ <u>あ</u> 完了の助動詞 |
| ③ <u>あ</u> 完了の助動詞 | ④ <u>あ</u> 完了の助動詞 | ⑤ <u>あ</u> 完了の助動詞 | ⑥ <u>あ</u> 完了の助動詞 |
| ④ <u>あ</u> 完了の助動詞 | ⑤ <u>あ</u> 完了の助動詞 | ⑥ <u>あ</u> 完了の助動詞 | ⑦ <u>あ</u> 完了の助動詞 |

問三 I 思さる、II 居たる、III 書き、IV とらへつ とありますが、それぞれの主語の組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号10の解答欄にマークしなさい。

- | | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| ① <u>I</u> 賤の男 | ② <u>I</u> 中將の君 | ③ <u>I</u> 賤の男 | ④ <u>I</u> 中將の君 |
| ② <u>I</u> 中將の君 | ③ <u>I</u> 賤の男 | ④ <u>I</u> 中將の君 | ⑤ <u>I</u> 賤の男 |
| ③ <u>I</u> 賤の男 | ④ <u>I</u> 中將の君 | ⑤ <u>I</u> 賤の男 | ⑥ <u>I</u> 中將の君 |
| ④ <u>I</u> 中將の君 | ⑤ <u>I</u> 賤の男 | ⑥ <u>I</u> 中將の君 | ⑦ <u>I</u> 賤の男 |

問四 A かくな言ひそ、C いづくよりとか申さん の現代語訳をそれぞれ書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問五 B さばかりのものとありますが、これは何を指していますか。二十五字以内で具体的に書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問六 和歌Dと和歌Eについて、中將の君が和歌Eを贈ったのはなぜですか。その理由を、和歌Dと和歌Eの内容を明らかにして書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

中学校 国語科 問題用紙

(13枚のうち8)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

〔三〕 次の文章を読んで、あとの問一〜七に答えなさい。(問一〜五はマーク式問題、問六・七は記述式問題です。) なお、設問の關係で返り点・送り仮名・符号を一部省略しています。

前漢ノ^{注1}高祖居^{注2}雒陽^{注3}南宮^{注4}ニ、從^{注5}復道^{注6}一望見スルニ、諸將往往偶語ス。
 上問^{注7}張良^{注8}ニ。良曰ク、陛下起^{注9}布衣^{注10}ヨリ、与^{注11}此^{注12}屬^{注13}取^{注14}天下^{注15}ヲ。
 今已^{注16}為^{注17}天子^{注18}ト、而所^{注19}ハ封ズル皆^{注20}蕭曹^{注21}ア故人^{注22}所^{注23}親愛^{注24}スル、X所^{注25}誅スル
 者皆平生ノ仇怨ナリ。此ノ属ハA畏陛下不能尽封、又恐^{注26}下^{注27}見^{注28}疑^{注29}ハ過
 失^{注30}及^{注31}上^{注32}レバンコトヲ誅ニ。故^{注33}ニ相聚^{注34}マリテ謀^{注35}レ反^{注36}耳。上平生所^{注37}ハ憎ム、群臣
 所^{注38}ナリ共^{注39}知^{注40}ル。B誰カ最モ甚^{注41}ダシキ者^{注42}ゾト。上曰ク、雍齒^{注43}ハ与^{注44}我^{注45}有^{注46}ニリ故^{注47}怨^{注48}ミ。
 数^{注49}シバ^{注50}窘^{注51}辱^{注52}ス我^{注53}ヲ。我欲^{注54}スレドモ殺^{注55}サント之^{注56}ヲ、為^{注57}ニC功多^{注58}キガD不^{注59}レト忍^{注60}ビ。良
 曰ク、今急^{注61}ニ先^{注62}ツ封^{注63}レシテ齒^{注64}ヲ以^{注65}テ示^{注66}ニサバ群臣^{注67}ニ、則^{注68}テ人人^{注69}ハ自^{注70}ラ堅^{注71}カラント矣。
 於^{注72}レテ是^{注73}ニ上^{注74}置酒^{注75}シ、封^{注76}レシテ齒^{注77}ヲ為^{注78}ニシ什方侯^{注79}ト、而急^{注80}ニ趣^{注81}ニシテ丞相御史^{注82}ヲ、
 定^{注83}レメ功^{注84}ヲ行^{注85}レナフ封^{注86}ヲ。群臣罷^{注87}レメ酒^{注88}ヲ皆^{注89}Y喜^{注90}ンデ曰ク、雍齒^{注91}スラ且^{注92}ツ侯タリ。我ガ属^{注93}ニ
 無^{注94}レシト患^{注95}ヘ矣。

(「蒙求」による。)

(注1) 高祖 〓 漢王朝で最初の天子。

(注2) 張良 〓 高祖に仕えた臣。

(注3) 布衣 〓 官位の無い人。

(注4) 蕭曹 〓 蕭何と曹参。いずれも高祖に仕えた臣。

(注5) 窘辱 〓 苦しめること。

(注6) 置酒 〓 酒宴を設けること。

中学校 国語科 問題用紙

(13枚のうち9)

受験番号

氏 名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問一 ア 故人の本文中における意味として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号11の解答欄にマークしなさい。

- ① 古老 ② 旧知 ③ 先人 ④ 死者

問二 イ 見の文法的な意味として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号12の解答欄にマークしなさい。

- ① 疑問 ② 使役 ③ 受身 ④ 否定

問三 A 畏陛下不能尽封を全て平仮名で書き下したものととして最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号13の解答欄にマークしなさい。

- ① へいかをおそれてほうじつくすことあたはず
② へいかのことごとくほうずるあたはざるをおそれ
③ へいかをおそれてあたはざるをことごとくほうじ
④ へいかのことごとくあたはざるをおそれてほうじ

問四 B 誰カ最も甚タシキ者ソとありますが、その解釈として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号14の解答欄にマークしなさい。

- ① 陛下は誰に最も疎んじられていると思いますか
② 陛下が最も優れていると思うのは誰ですか
③ 陛下は誰が最も疑われていると思いますか
④ 陛下が最も憎んでいるのは誰ですか

問五 C 功多キガ、D 不レト忍ビとありますが、それぞれの主語として最も適切なものを、次の①～④の中からそれぞれ選び、その番号を答えなさい。Cは解答番号15の解答欄に、Dは解答番号16の解答欄にそれぞれマークしなさい。

- ① 高祖 ② 張良 ③ 蕭何・曹参 ④ 雍齒

問六 X 所レ誅スル者皆平生ノ仇怨ナリの現代語訳を書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問七 Y 喜シクとありますが、群臣が喜んだのはなぜですか。その理由を、本文の内容を踏まえて書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

中学校 国語科 問題用紙

(13枚のうち10)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

【四】 次に示す、平成二十九年三月告示の中学校学習指導要領 国語 各学年の目標及び内容 [第3学年] 内容 [知識及び技能] について、あとの問一・二に答えなさい。

- (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めること。
- イ ☐ X を理解し使うこと。
- (3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむこと。
- イ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うこと。
- ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解すること。
- エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。
- (7) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと。
- オ ☐ Y 読書の意義と効用について理解すること。

問一 ☐ X に当てはまる語句として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号17の解答欄にマークしなさい。

- ① 情報の信頼性の確かめ方
- ② 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法
- ③ 引用の仕方や出典の示し方
- ④ 情報と情報との関係付けの仕方

問二 ☐ Y に当てはまる語句として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号18の解答欄にマークしなさい。

- ① 自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにする
- ② 新たな考えの構築に資する
- ③ 自分の生き方や社会との関わり方を支える
- ④ 必要な知識や情報を得ることに役立つ

9 中学校 国語科 問題用紙

(13 枚のうち 11)

受験番号	氏 名
------	-----

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

【五】平成二十九年三月告示の中学校学習指導要領 国語 各学年の目標及び内容 「第1学年」 内容 「思考力、判断力、表現力等」 C 読むこと (1) エ には、「文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。」と示されています。あなたは、この指導事項に基づいた単元を設定しようとしています。次の表は、この単元における【目標】、【言語活動】、【評価規準】、【単元の流れ】、【指導の要点】を示したもので、【教材】は、この単元で使用するものです。これらについて、あとの問一・二に答えなさい。

【目標】	文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる。
【言語活動】	文学的な文章（小説）を読み、その構成や展開が、文章全体においてどのような効果をもたらすかについて、考えたことを説明する文章を書く。
【評価規準】	「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。
【単元の流れ】	一次：単元の見通しをもち、教科書に掲載されている文学的な文章（小説）を、その文章の構成や展開に着目して読み、そのような構成や展開がもたらす効果について考える学習を行う。 二次：一次の学習を生かして、【教材】を読み、登場人物の心情の変化に沿って文章の流れを捉えその展開を説明する文章を書く。次に、文章の構成や展開に着目して読み、 で囲まれた部分があることは、この文章全体においてどのような効果をもたらすかについて、考えたことを説明する文章を書く。 三次：二次で書いた文章を交流し、他者の考えやその根拠などを知り、改めて自分がどのように文章の構成や展開を捉えたのかを振り返る。
【指導の要点】	○ 文学的な文章（小説）の構成や展開に着目して読む際には、場面を捉えて全体の構成を理解するだけでなく、登場人物の心情の変化に沿って文章の流れを捉えその展開を把握するよう指導を行う。 ○ 文章の構成や展開が文章全体にもたらす効果を考える際には、自分の考えの根拠を明確にするよう指導を行う。

【教材】

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

9

中学校 国語科 問題用紙

(13枚のうち12)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(注1) 細線Ⅱ巻き貝の一種。

(志賀直哉 「宿かりの死」 による。)

(13枚のうち13)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問一 あなたは、この単元の【単元の流れ】に示す【二次】において、「登場人物の心情の変化に沿って文章の流れを捉えその展開を説明する文章を書く」という学習課題を設定して、【指導の要点】を踏まえた指導をしようとしています。次の【想定される生徒の文章①】は、登場人物の心情の変化に沿って文章の流れを捉えることにつまずきのある生徒の文章として想定したものです。あなたは【想定される生徒の文章①】を書いた生徒に対して、どのような指導を行いますか。生徒のつまずきを明らかにして、それに対する指導の具体について、あとの条件 1・2 に従って書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

【想定される生徒の文章①】

宿かりは自分よりも大きな榮螺と出会った恥ずかしさと怒りから、自分の殻を捨てた。その後、榮螺よりも大きな法螺貝を見つけたら、大きくなりたい欲望から、自分の身体に合わないのを我慢してその中で過ごした。それから一年かけて大きな法螺貝の中が一杯になるまで発育したが、自分よりも素敵に大きい法螺貝に出会い、びつくりしてしまふ。宿かりは今度こそ誰にも負けないくらい大きくなろうと再び自分の殻を捨てる、というのが話の流れである。

条件 1 生徒のつまずきについて、【想定される生徒の文章①】の中から根拠となる記述を挙げて書くこと。

条件2 【教材】の中から、複数の叙述を挙げて、それを用いた指導の具体を書くこと

問二 あなたは、この単元の【単元の流れ】に示す「二次」において、「文章の構成や展開に着目して読み、――で囲まれた部分があることは、この文章全体においてどのような効果をもたらすかについて、考えたことを説明する文章を書く」という学習課題を設定して、【指導の要点】を踏まえた指導をしようとしています。次の【想定される生徒の文章②】は生徒が書いた文章として「おおむね満足できる」状況（Ｂ）を満たす文章として想定したものです。【想定される生徒の文章②】の続きを、あとの条件に従って書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

【想定される生徒の文章②】

【教材】は、宿かりが 自分のからだに合わない大きな法螺貝を曳きずって歩く場面、更に大きな法螺貝を目にした後、生涯を振り返りながら死んでいく場面、学者等によってアルコール漬にされた姿をさらす場面という構成になっている。次に、展開をみると、…（中略）…。以上のような構成と展開を踏まえると、で囲まれた部分があることは、この文章全体に次のような効果をもたらすと考えられる。

条件【教材】の中から、根拠となる叙述を挙げて書くこと。

氏名

⑨ 中学校 国語科 マーク式解答用紙

受験番号

0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

一

解答 番号	解答欄
1	① ② ③ ④
2	① ② ③ ④
3	① ② ③ ④
4	① ② ③ ④
5	① ② ③ ④
6	① ② ③ ④

二

解答 番号	解答欄
7	① ② ③ ④
8	① ② ③ ④
9	① ② ③ ④
10	① ② ③ ④

三

解答 番号	解答欄
11	① ② ③ ④
12	① ② ③ ④
13	① ② ③ ④
14	① ② ③ ④
15	① ② ③ ④
16	① ② ③ ④

四

解答 番号	解答欄
17	① ② ③ ④
18	① ② ③ ④

〔記入上の注意〕

- 余白には何も記入しないでください。
- HBまたはBの鉛筆で該当する ○ にマークしてください。
 マーク例 《良い例》 ●
 《悪い例》 ○ ○ ×
- 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
- 受験番号については、6桁の数字を記入したうえで、該当する ○ にマークしてください。



(3枚のうち1)

受験番号

氏
名

問題番号													解答欄
問一～五は、マーク式解答用紙に記入すること。													
問九			問八						問七			問六	
㉗													
㉘													
㉙													
㉚													
㉛													
㉜													
㉝													
㉞													
㉟													
㊱													
㊲													
㊳													
㊴													
㊵													
㊶													
㊷													
㊸													
㊹													
㊺													

中学校 国語科 記述式解答用紙

(3枚のうち2)

受験番号

氏名

問題番号

解答欄

問一～三は、マーク式解答用紙に記入すること。

A

C

問四

問五

二

問六

二					
問六		問五		問四	
				C	A

問題番号

解答欄

問一～五は、マーク式解答用紙に記入すること。

問六

問七

三

三			
問七		問六	

四は、マーク式解答用紙に記入すること。

9

国語科

記述式解答用紙

(3枚のうち3)

受験番号

氏
名

受験番号		氏名	
------	--	----	--

[illegible]